

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第2号 (2007・04)

事務局川西地区自主防災会

「近未来に発生するといわれている南海・東南海大地震

今、私たちにできること」+

## 1. 香川大学工学部長谷川教授へ防災インタビュー



2007・4・17【火】香川大学工学部安全システム建設工学科 長谷川修一教授への防災インタビュー

### Q：香川県でも直下型地震が起こるのでしょうか

1995年の阪神大震災は大陸プレートが沈み込むときにプレート内にたまっていたひずみのエネルギーによって、地殻にひびが入ることで発生した地震です。このときできるひびが『断層』で、阪神大震災では北淡町に約10kmの野島断層が地表に現れました。M7以上の地震になると淡路野島断層のように地表に顔を出すのが一般的ですが、M6では断層は地表に顔を出しません。香川には最新活動時期9世紀～16世紀の長尾断層があり、丸亀平野には、活断層の疑いのある岡田断層と上法軍寺断層があります。それ以外でも平野や海底には未知の断層が隠れている可能性があります。従って、M6以上の直下型地震は、地震列島日本のなかの香川ではどこでも起こる可能性があります。

### Q：南海・東南海地震については

南海地震のようなプレート間地震、歴史上巨大地震が繰り返し発生しています。南海地震は2035年前後で発生確率がピークとなり、前後15年の発生確率が高いのですが、それより前に発生する確率は20%ぐらいありますので、無視できません。巨大地震が近づいてくると、当該場所では地震は少なくなり、その周辺地域で起こってきます。最近の三重県中部の地震などを考えると、南海トラフにそろそろ巨大エネルギーが蓄積されてきた前兆かもしれません。最近発生している周辺地域の地震と今後発生する巨大地震とは密接な関係がありそうです。

### Q：大学と地域のコラボレーションについて

昨年、川西自主防災会と一緒にあって、大学院生が防災に取り組んできました。大学としてはこれから研究活動を通じて、システム化をはかりノウハウとして蓄積し、学問として地域に発信・還元していくのが努めであると考えています。今年は、新たに地元高松地区からも、協力要請が来ておりまして、ノウハウを持った学生が新しい学生を教えながら、研究活動を通して地域貢献をしていきます。今年は四県合同の土器川水防訓練に香川大学として始めて参加し、学生にも地域との実務訓練を是非経験させたいと考えています。

### Q：かがわ自主ぼう連絡協議会に対するメッセージ

まず、自助と公助を繋げるのが共助としての連絡協議会の大きな役割です。特に公助としての行政をいかに活用していくかがポイントです。災害に対する危険性を感じていなければ防災の行動はできません。協力し合って災害に強いまちづくりに取り組んでいきましょう。

## 2. 新メンバー高松市二番丁地区コミュニティ協議会のご紹介をします



二番丁地区は古い町と新しい町が同居し、海岸に近く、防災関係では高潮、津波の危険が想定されます。又、古い町並みは戦前の建物や、道路も狭く消防車の進入困難な箇所が多くあり、それだけに防災については自主防災会を中心にし、防災訓練などをして常日頃から対応策を考え、活動しております。

二番丁地区コミュニティ協議会

## 3. わが街の紹介（丸亀市川西地区）

土器川から飯野山を望む



防災部員と防災用資機材



第5回防災フェア&Walking



自主ぼう連絡協議会の事務局を担当しております、まずはトップバッターを努めたいと思います。

1. 人口7,000人、世帯数2,500、面積4.3平方Km、新興住宅が増加しつつある土器川の西に位置する川西町です。自治会加入率については、49.6%と丸亀市の中で足を引っ張っている状態です。川西町の丸亀市合併前は川西村であって、誕生したのは明治23年2月15日であります。尚丸亀市との合併は昭和29年4月1日でした。当時の生活レベルを紹介してみますと、新聞購読499戸、ラジオ348戸、自転車の利用状況は男性793台、女性104台、村役場の歳入7,731,650円という規模でした。(当時の人口は3,089人、世帯数583)
2. わが街を流れる1級河川土器川の左岸から眺める飯野山の美しさは格別です。平成10年頃から大型SCが完成して、土器川に平行して南北を貫く県道丸亀～三好線に沿って病院、医院が立ち並び通称『病院ロード』とされています。
3. 本年度の自主防災活動の基本的取り組み
  - (1) 近隣コミュニティとの連携
  - (2) 小中学校との防災研修
  - (3) 資機材の強化
    - 救出用工具の充実
    - 避難生活の充実
  - (4) 単位自治会への出前研修
  - (5) 県内全域への情報発信



長谷川教授に推薦していただいたDVDによる『必須!!防災知識』3冊

- DVD 日本に住むための 必須!! 防災知識 中学・高校・一般向け (990円)  
日本人が最低限知っておくべき防災知識を身につけてもらうことを目的としたもので記録映像、写真、イラストなどを盛り込んで、ビジュアルに仕上げてあり、中学・高校での学習、職場や地域防災活動での講習などに最適です。(土木学会HPでも直接購入可能)
- DVD 日本に住むための 必須!! 防災知識 小学校高学年 (3500円)
- DVD 日本に住むための 必須!! 防災知識 小学校低学年 (3500円)

事務局連絡先：〒763-0092 丸亀市川西町南4-2-8

川西コミュニティセンター内かがわ自主ぼう連絡協議会事務局（川西地区自主防災会）

0877-28-5519

e-mail:josin-c@mail.netwave.or.jp